教会とは…

教会という言葉は、「祈りの家、建物」を意味することが多いですが、「キリストを信じる人々の集い、共同体」も意味します。
長崎県には、133の教会（主任・巡回教会など）があり、72の小教区を構成し、「長崎教区」になっています。
全国にはこのような教区が16ありますが、全国のカトリック信者の約14パーセントが集まる長崎は、大司教を中心とする「カトリック長崎大司教区」です。
明治以降、初期の教会には正面に「天主堂」と書かれた額が掲げられていますが、これは神「デウス」の中国語表記「天主」を、外国人神父達がそのまま流用して「天主堂」としたものです。

ミサとは…

キリストが復活した日曜日を「主の日」とし、「最後の晩餐」と、死と復活を記念する祭儀をおこなうようになりました。
これが現在のミサであり、信者にとってキリストの体であるパン（聖体）を拝領することでキリストとひとつになる大切な祭儀です。

【教会の主な祝祭日】

カトリック教会には、年間を通してキリストの生涯を記念する「典礼暦」があります。聖霊降臨祭復活祭の7週間後、
主なものは、降誕祭（クリスマス）12月25日・復活祭（イースター）春分後の最初の満月の後の日曜日・主の昇天復活祭の6週間後・
キリストの聖体＝聖霊降臨祭の2週間後・聖母の被昇天8月15日などがあり、復活祭はすべての祝祭日の中心をなすものです。

「教会は祈りの家です」
拝観時のマナーを守ることを心がけましょう

- ミサや教会行事中は、信者の妨げにならないようにしましょう
- 葬儀など特別な儀式の場合は、拝観をご遠慮ください
- 鐘は鳴らさないでください
- できるだけ、公共のトイレをお使いください
- 土足厳禁の教会では、靴は下駄箱へ入れましょう
- 教会の中に入るときは、脱帽し、静かにしましょう
- 服装は、祈りの場にふさわしいものを着用しましょう
- 私語はつつしみ、携帯電話をマナーモードにしておきましょう
- 教会内外の聖具、装飾物には手を触れないようにしましょう
- 内陣には入らないでください
- 飲食や喫煙はご遠慮ください
- 原則として、教会内の撮影はできません
- ごみは各自持ち帰りましょう

・五島市教会巡り ハンドブックはこちら

ながさき旅ネットより一部抜粋。©(一社)長崎県観光連盟 長崎県文化観光国際部観光振興課